

# 慰めを語る

*エルサレムの平和のために祈りなさい。「あなたを愛する者が繁栄しますように。」*



日 1970/365
Declaring God's Word
著者 デレク・プリンス

私たちは神のイスラエルのための目的に、どのように関わることができるでしょうか。一つのシンプルな方法をお勧めしたいと思います。イザヤ４０章１-２節で、神はこう言っておられます。

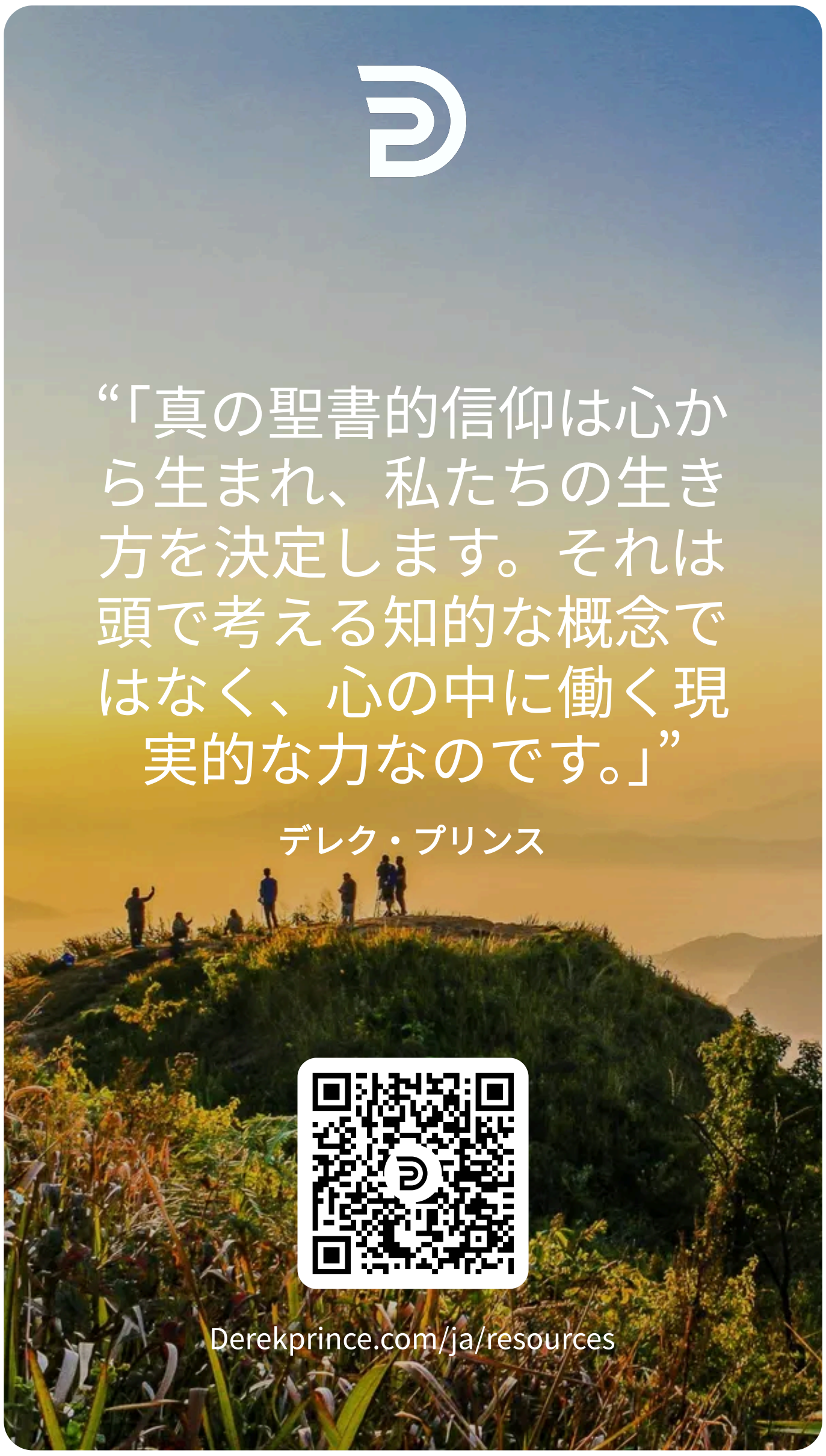
> 「慰めよ、慰めよ、わたしの民を。 —あなたがたの神は仰せられる— エルサレムに優しく語りかけよ。これに呼びかけよ。その苦役は終わり、その咎は償われている、と。そのすべての罪に代えて、二倍のものを主の手から受けている、と。」

私はこの箇所を分析し、「慰めよ、わたしの民を」と言っている箇所は、直接エルサレムに言及していることから、ユダヤ人を指していると理解しています。ユダヤ人は、エルサレムと切り離して慰められることはありません。彼らの心はエルサレムの町と完全に結びついています。ですから、私の解釈が正しく、「わたしの民」がユダヤ人であるとすれば、誰に向かって言われているのでしょうか。慰めを語る人は、ヘブル語では複数形です。その言葉は、聖書の神と神のことばの権威を受け入れている人々に向かって言われているに違いありません。そうです、私たちのように信仰を持つクリスチャンにです。神はこう言っておられます。「慰めよ、わたしの民イスラエルを。」神は私たちに、イスラエルを慰めることを求めておられます。

私には、イエスを信じるユダヤ人信者の友人がたくさんいますが、彼らが私に指摘することは、世界中の教会はイスラエルを慰めることよりも、批判することに何倍もの時間を費やしているということです。私たちは批判するために召されているのではなく、「慰めよ」と命じられています。あなたはその責任を受け止めますか。

イスラエルを慰めることは、主の道を備える一つの方法であると、私は信じます。何世紀にもわたって続いてきた偏見と疎外、誤解は打ち砕かれなければなりません。クリスチャンの本物の愛の温かさによって、彼らの怒りが消し去られなければなりません。それは、今の私たちに課された課題であると信じています。

主よ、イスラエルを愛する人々に約束してくださる祝福を感謝します。私は神の民を慰め、エルサレムを慰めると宣言します。私はエルサレムの平和を祈ります。あなたを愛する人々が栄えますように。アーメン。



**ディボーション ★**
原稿: WD-B097-278-JPN
最終更新日: 05 Oct 2026
ウェブサイト: Derekprince.com/ja/resources

© 2008 - デレク・プリンス・ミニストリーズ・インターナショナル・インク